

告示研修へ参加して

医療法人健友会 本間なかまちクリニック / 本間病院 臨床工学科
五十嵐一生

臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修（告示研修）は、私たち臨床工学技士の可能性を広げる追い風になります。

私はeラーニングによる基礎研修の後、11月3日4日に第2回実技研修を受講しました。実技研修の主会場であるイービーエム羽田医療技能訓練所は空港からのアクセスが良く、東北地方からでも参加しやすい会場であると感じました。研修の印象としては、これまで関わりがなかった鏡視下手術のカメラ保持・操作のインパクトが大きかったように思います。当法人では、この研修の間、医師・看護師による手術チームと臨床工学技士の参入について検討を重ね、修了後の12月14日から腹腔鏡下手術のカメラ保持・

操作に臨床工学技士が加わった新たな手術チームで業務を行っています。まさに、告示研修が追い風となり、臨床工学技士の業務範囲が拡大したわけです。告示研修を修了した臨床工学技士はeラーニングで解剖や術式を振り返りながら業務を行い、これから実技研修する臨床工学技士は手術室でカメラワークを見学しながらeラーニングを受講しています。告示研修を通して、臨床工学技士の可能性が広がっていく感覚を覚えています。

